

神奈川県作業療法士会平成 16 年度第 7 回理事会議事録

| 日 時：平成 17 年 2 月 15 日 18:45～21:30 | 場 所：神奈川県作業療法士会事務所 |
|--|---|
| 参加者：長谷川会長 錠内 鈴木 浅海 田中(節) 大竹 黒木 田中(秀) 三川 松本 浅井 長谷 佐藤 理事外：長雄 澤口 庭田 山田 作田 | |
| 議 題 | 内 容 |
| 1. 長谷川会長挨拶 2. 事務局報告 (錠内事務局長) | <p>本日、神奈川県民医療推進会議発会式に出席しました。25 団体に声をかけ、23 団体が出席。平成 17 年度も神奈川県作業療法士会の会員数は増えていくと思われ、十分発言権を持てると思います。</p> <p>総会に関して資料説明 総会次第の中で役選は 7 番の議案の前に行く。 総会役員は議長 坂本俊夫(横浜市脳血管センター) 副議長 坂間和弘(介護老人保健施設ライフプラザ鶴巻) 書記 2 名 野本氏に依頼中 議事運営委員 2 名 議事録署名人 片寄栄子(横須賀共済病院) 吉田良子(横須賀北部共済病院)</p> <p>第 5 号議案 定款一部改定 4 点、定款の改正の承認を得たい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事務所の住所 2. 副事務局長の追加 3. 総正会員の 4 分の 3 以上の同意 総会出席構成員の 4 分の 3 以上の同意 4. 部の名称の変更 地域リハビリテーション対策部 地域リハビリテーション推進部 <p>浅海：委任状は出席構成員には含まれるのか？ 錠内：含まれる。今回、定款を改訂し、完全に作り上げて、会員一人ずつに配る予定。</p> <p>第 6 号議案 特設委員会の設置について 現在は作田先生一人で運営されているが、来期からは部員を募るメーリングリストができ、情報交換もスムーズにいくようになってきた。情報統計と協力して、OT 協会調査部のような委員会を作りたい。理事を増やすかどうか審議をお願いします。</p> <p>浅井：会費を値上げし、会員も増えてきている。今後はもっと情報を公開していかないと。大事な部署だと思う。 錠内：古いサイトを閉鎖して移ってきた人がかなりいる。県士会全員が kana からの手紙に入ってくればよいのだが。</p> <p>承認 理事 1 名増員</p> |

| | |
|--------------------------------|--|
| <p>3. 県学会に関して (長雄学会長)</p> | <p>神奈川県作業療法士学会に関して資料説明 演題は 15 題出ており、現在、査読中。奥原氏(横浜 Y M C A 専門学校)を中心に学会誌を編集中。15 時 40 分から総会となっているが、少し早めに開始し、15 時 30 分から総会を始められるようにしたい。</p> <p>浅海：分野別で、所属が勤務先と研究会で混在している。 長雄：各分野の意向に準じたが、統一していきたい。 鈴木：15 演題を 1 時間半でどのような運営で行うのか？ 長雄：身障と精神で部屋を分かれて行う。現在、査読中なので、ポスター発表はあるかどうか分からない。 長谷川：資料では作業療法士学会となっているが、士をいれるのかいいののか？ 長雄：作業療法学会に決めていただいたほうが。 錠内：定款ではそのようになっている。 田中(節)：分野別のところが、よくわからない。 浅海：実習、検討会、講演、いろいろある。 長雄：分野別のカテゴリーが不自然のようなら、検討する。 鈴木：今回には間に合わないが、法人化に向けて公益性を考えていただきたい。学会で行うのか、別の催しで行うのかわからないが、県民に対する公開講座を考えていただきたい。 錠内：その辺は、今後の課題ということで。</p> |
| <p>4. 福祉用具検討委員会 (黒木理事)</p> | <p>平成 16 年度収支報告：別紙参照 同じ人が受講している状況。興味を引く内容が少ないが、必要な分野であるため、今後はそれをふまえて研修会内容を検討。</p> |
| <p>5. 学術部(三川理事)</p> | <p>1. 手帳移行手続きについて：41%の移行状況。協会本部でも延長を検討中(三川) 2. 認定団体について：現在 2 団体の申請あり(別紙参照) 浅井：承認に関しては県士会として承認後のフォローアップまで考えておく必要があるのでは？ 浅海：基準が不明確な点が多いため、共通の書式が手元があれば判断しやすい。 鈴木：協会としての基準はあるが、県士会として基準について十分に議論をしていない現状。 協会としての認定基準 項目プラス 年に二回以上活動を実施していること web サイトにて活動の情報開示と報告をすること</p> <p>鈴木：認定基準を学術部にてまとめ、二冊にて会員に提示することが必要。 浅井：県士会としての指導が必要であり、具体的に何故そのような基準が必要になるかまで指導することが必要。</p> |

| | |
|--------------------------|---|
| | <p>以上の点を考慮し、三浦半島作業療法研究会と神奈川県臨床精神科作業療法研究会の2団体は承認とする。</p> <p>3.県士会採用ポイントについて 半年～一年の人には2ポイント、2年で4ポイント（全ての人に委嘱状を出す。短期間の仕事に関しても同様。） 承認 浅海：いつから委嘱している人が対象となるのか？ 三川：H15.4.1以降の人にはポイントを渡したい。 H16以降に関しては、委嘱状があるが、それ以前のは各部長にあるため、三川に伝えてほしい。</p> |
| 6. 財務部（長谷理事） | <p>来年度の収支について 事務所の開設に必要な、初期投資で今年度の予算は全て執行される予定。各部にて事務経費（会議や食事費）の合理化が必要。そのために、事務局に仕事を移行できるものは移行し、一本化することが望まれる。</p> |
| 7. Web サイト担当 （作田事務局員） | <p>1. 報告事項（別紙参照） 次年度より、特設委員会としたい。 事務所使用について、予約システムを採用。予約方法について説明。 2. 神奈川県作業療法士会公式ウェブサイトの略称について 「県士会サイト」を使用する。</p> |
| 8. 情報統計部 （大竹理事） | <p>1. 報告事項（別紙参照） 2. データベース修正について：大竹 認定作業療法士を受けた年度の記入が今後必要か？ データの追加内容に関しては2月中にメールにて大竹氏へ送ること。</p> |
| 9. 広報部 （松本理事） | <p>県士会案内パンフレットは作成できていない。 今後、ニュース求人申し込み窓口は事務局へ移行する。</p> |
| 10. 福利部 （田中理事） | <p>事務所開き決定事項報告（別紙参照） 16:30 事務所集合にて見学をしてもらう。（花を飾ること必要） その後会場に移動し、立食（部屋周囲に椅子を置く）にて会を開催。 招待客にお土産を用意</p> |
| 11. 地域リハビリテーション対策部（浅海理事） | <p>1. 次年度以降の名称変更について（別紙参照）：「地域リハビリテーション推進部」にて承認 2. 次年度事業計画について（別紙参照）</p> |
| 12. その他 | <p>1. 次年度役選について： 福祉用具検討委員会 立候補 情報統計部 立候補</p> |

| | |
|------------|--|
| 13. 事務局長挨拶 | <p>2. 監査について：日程 4.9（土） 9:30～事務局にて実施。 長谷 3.19（土）各部帳簿のチェックを済ませ、メールして欲しい。 佐藤：データベースを統一して欲しい。 長谷：財務にて作成し、配布する。</p> <p>3. 次回理事会について：三月の理事会はなし（事務所開き 3.26 のみ）</p> <p>4. 解任者挨拶：黒木 大竹</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |
|------------|--|

文責：庭田夢香 山田真理子
鋳内広之